



宇治平等院と平城京跡地へ 南地区バスツアーに123名が参加



6月20日(日)南地区は宇治の平等院と平城京跡地の1300年祭に行きました。毎回好評のバスツアー。なんとバス3台123名が参加しました。4月に誕生した岡崎支部からは30名が参加しました。心配していた雨は昼食時だけで、しのぎやすい絶好の旅行となりました。前はバス2台でしたが、今回は大きく上回り、不安もありましたが、入念に事前準備をしていたため、スムーズに旅行ができてホッとしています。西本理事の歴史講座は毎回好評で、今回は3台のバスを乗り換えて、奈良の都・平城京などについて解説しました。西本理事の語りを楽しみに参加している組合員さんも多くいます。組合員さんに誘われて初めて参加される方が何人もおり、今回の旅行を契機に11名の組合加入がありました。知人を旅行に誘った組合員から、「旅行は楽しかった。大正琴をしているので、



たくさんの組合員さんが参加しました。(昼食会場)

年齢者昼食会のとき演奏にいきます」と連絡があったそうです。この方は、医療生協にも加入していただけたこととです。バスの中では、医療生協の紹介DVDを観てもらったり、健診のおすすめ、芦原診療所のデイサービスなどの事業紹介などいっぱいアピールもできました。南地区のバスツアーが取り持つ縁でつながりが広がっています。南地区では、組合員さんの熱い要望に応え、11月に滋賀・永源寺に再びバスツアーを予定しています。

和歌山県生協連第20回通常総会開かれる

6月22日(火)県生協連第20回通常総会がわかやま市民生協組合員ホールで県内9生協29名の代議員の参加で開かれました。県環境生活部県民局県民生活課、県農協中央会、県漁協連、県森林連、県労福協など来賓が紹介された後、尾添仁会長から1990年の9月に県生協連が6生協で設立され、20年経った今日、9生協、のべ24万5千人組合員に発展していることが述べられ、消費者を守るネットワークづくり、大規模災害を想定した生協としてのとりくみ、県行政や県内協同組合との連携づくり、県民・地域を視野に入れた活動などのとりくみを強化しようとあいさつしました。活動報告や方針など第1号議案から第6号議案まで提案され、満場一致で各議案とも採択されました。今総会では山本尋高医療生協代議員が議長を務めました。阪中重良県生協連副会長が退任され、木下和久医療生協副理事長が新たに副会長として選出されました。



自治会館の掲示板に手書きの健康チェック案内 河西地区にし支部

6/21(月)中自治会でまちかど健康チェックを行い、18人が血圧・尿・体脂肪・骨密度測定を受けました。年に1度、エレガンス班を中心に自治会館で開催していますが、いつもは健康チェックの案内を回覧板でまわしているのですが、今回出し洩れたため、班長さんが、自治会館前の掲示板に手書きの案内を掲示し、いつも受けに来られる方には電話をしてお誘いしました。健康チェックのあと井戸診療所長が、「認知症」

話をしました。熟成された講義内容に、人ごとではないと感じられたのか、みなさん熱心に聞き入っていました。職員は4人参加しました。



私たちのいのちとくらしの未来を開く選択を!

2010年6月17日
日本生活同組合連合会医療部会
運営委員長 高橋泰行

6月24日公示、7月11日投票という日程で、第22回参議院議員選挙が行われることとなりました。今回の参議院選挙は、昨年の政権交代後初めての国政選挙です。

また、後期高齢者医療制度の継続や地域の医療・介護の崩壊、雇用不安など深刻な事態が進み、いのちとくらしの危機が広がる中での選挙となります。

これらの状況の下で、組合員の皆さんが、選挙に関心をもち参加することが主権者としての責任と権利の行使の上で大変重要だと考えます。

また、参議院選挙にあたり、それぞれの政策を見る上で、次の3つのものさが大事だと考えます。

- ①「健康をつくる。平和をつくる。」をすすめるためにどのような政策が求められるか?
- ②社会保障の充実に対して実際にどのような態度をとってきたのか?
- ③社会保障の充実を実現するための財源をどうするのか?

今回の参議院議員選挙は、各党派がそれぞれマニフェスト(公約)を前面に掲げています。それぞれの政策をよく聞き、主張を吟味し、私たちのいのちとくらしを守る選択をおこなおうではありませんか!